学校法人 福島高校 校友会機関紙
流輝

発行所
学校法人松韻学園 福島高等学校 校友会
福島市御山町9－1
電話024(534)3551
編集責任者 八島 信夫

街に光を くらしに輝きを！
株式会社 電工社
代表取締役 作田 謙太郎（平成元年電子科卒業）
〒960-8141 福島市御山字上ノ内1-1
TEL(024)531-3111
FAX(024)531-3117

本校から初の関取

大相撲・若隆景 十両昇進

盛大に祝賀会開催

校友から化粧まわし

本校相撲部出身者から初めて、大相撲の関取が誕生した。平成30年春場所、西幕下筆頭で勝ち越し、夏場所番付編成会議で若隆景（本名＝大波渥、平成25年普通科実務教育コース卒、荒汐部屋）の十両昇進が決まった。デビューから7場所のスピード出世で、福島市内からの関取誕生は8年半ぶりの快挙となった。

若隆景関は本校から東洋大学に進学、4年次に全国学生選手権（インカレ）で準優勝した。卒業後は兄2人が所属する荒汐部屋に入門、昨年春場所三段目最下目度も一気にアップした。

乾杯の発声をする松原校長

福島市からの関取誕生は およそ9年ぶりとあってマスコミへの露出度は目を見張るものがあり、県民の注目を集めた。

校友会は、本人に化粧まわしを寄贈すべく広く校友に支援を呼びかけた。

若隆景関の両親が営む「ちゃんこ若葉山」の関係者、相撲関係者、本校校友らを合わせ、当初の想定を上回るおよそ330人が出席し十両昇進を祝福した。

八島信夫校友会長が実行委員会を代表してあいさつし、安斎睦男県文化スポーツ局長、金子恵美、亀岡偉民衆院議員、小幡治福島市長、荒汐親方らが来賓として祝辞を述べた。

300人超える出席者

一方、校友会は相撲部OB会、県北相撲協会と共に18万円の浄財が寄せられた。

実行委員会（半澤泰雄委員長）を組織し、5月6日に福島市のウェディング・エルディで盛大な祝賀会を開いた。

山森理事長に報告

増上には真新しい、学法福島高校名の入った真紅の化粧まわしが飾られ、そのそばで若隆景関が「福島に勇気を与えられるような、元気な相撲を取りたい」と誓った。その誓い通り若隆景関は昇進直後の夏場所で8勝7敗と勝ち越し、番付を2枚上げた名古屋場所でも9勝6敗と奮闘した。9月9日からは秋場所に臨む。

若隆景関は翌7日、内堀雅雄知事、小幡治福島市長や民報、民友新聞社、そして本校を表敬訪問した。校友会から八島信夫会長と作田謙太郎事務局長が同行した。本校では、理事長室で山森宗明理事長と面談した。（2、5面に関連記事）

山森学校長が逝去

全生徒参列し合同葬

学校法人松韻学園福島高等学校の学校長で前学園理事長の山森元昭氏が今年1月18日午後5時27分に心不全のため、福島市の病院で逝去された。告別式は松韻学園と山森家の合同葬にて同23日、福島市黒岩のたまのやこころ斎苑で執り行われた。喪主は弟で学園理事長の山森宗明氏、葬儀委員長を齋藤卓夫県森林林業課長を務めた。

式には会社関係者、職友会、校友会などから多くの弔問客が参列し逝去を悼むとともにご冥福を祈った。校友会からは祭壇に生花を供えるとともに、役員らが参列し焼香した。

合同葬の式場

参列者を代表して本校の緑川果琳さん（文理進学コース2年・生徒会長）と菅崎飛生雅君（実務選択コース3年・空手道部）がお別れの言葉を述べた。（3面）

山森元昭氏は昭和17年福島市生まれの76歳。昭和40年明治大学法学部法律学科卒。卒業後、学園副理事長として母きう理事長を支えた。昭和59年6月、きう理事長の死去に伴い、理事長に就任し、学校経営の最高責任者として学園経営と教育双方の責任者となり活躍された。昭和60年7月には本校の8代目校長に就任。

新校長に松原氏

初の生え抜き

本校校長の山森元昭氏の逝去に伴い、後任の校長に2月1日付けで、松原光副校長（48歳）が就任した。歴代16代、13人目の校長となるが、本校卒の生え抜きとしては初めてとなる。（新任の挨拶も含めたあいさつは別掲）。

松原光氏略歴　福島市出身。本校普通科、東北学院大学法学部法律学科卒。平成8年4月松栄高校教諭、同13年4月学法福島高校教諭、同16年4月松栄高校教頭、同25年4月学法福島高校教頭兼校副校長、同30年2月現職。

本校空手道部の創設者で現在校友会副会長の松原英男元本校教諭は実父。

ごあいさつ

学校長　松原　光

校友会の皆さまには、平素より本校教育活動につきまして、多大なるご理解とご支援をいただきありがとうございます。

この度、前校長・故山森元昭先生の後任として本年2月1日付けで校長職を拝命いたしました松原光と申します。私は本校昭和62年度普通科卒業生であり、母校初のOB校長として更なる発展を目指し尽力して参りますのでよろしくお願い致します。

さて、昨年本校は創立75周年を迎えました。校友の皆さまのご理解とご支援によりまして多くの周年記念行事を実施させていただきました。その都度、在校生には創立以来の本校の伝統と校友の皆さまの母校への熱い思いについて話をしてまいりました。それを胸に刻み、伝統を引き継ぎ、新しい時代に見合う学法福島高校の生徒として充実した高校生活を送ってくれるものと確信しております。

ここで、近年の本校の現状につきましてご報告いたします。ご承知のとおり、国では高等学校教育、大学入試改革、大学教育の三位一体の「高大接続システム改革」が進められております。

これは、国際競争力を高めるとともに、労働力確保と経済成長、ITからさらに進んだ人工知能時代への対応、そのような社会の実現には、教育改革が重要であるとの視点からの改革であります。

就職試験や大学に合格するための学力の養成はもちろん必要でありますが、時代の要請と学法福島高校の向かうべき方向性としては、筆記試験に必要な知識のみを答えられるようにする教育から、主体性や協調性、思考力・判断力・表現力が高く、答えがなかったり、教職員一同、真摯に取り組んでまいりたいと思います。校友の皆さまにおかれましても、母校の後輩たちに対し、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

どんな社会にあっても生き抜ける人間としての基礎・術を身に付けさせる教育、社会でも大学でも「この人は、この学生は学法福島高校出身だ」と相手に思わせるような人物を育てる教育、「自分の人としての原点は学法福島にある」と後々思えるような教育とはどのような教育かを考え、実行する時期に来ていると思います。

一部の校友の皆さまには、「学法福島は何をしているのか」とご心配いただくこともあろうかと思いますが、就職内定率、大学の合格実績も上げるよう努力をしつつ、学法福島の建学の精神「規律・礼節・誠実」を胸に、小さな物差しにとらわれ過ぎず、本質を見据え、時代をリードできるような人材を輩出できるよう、教職員一同、真摯に取り組んでまいりたいと思います。校友の皆さまにおかれましても、母校の後輩たちに対し、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

流輝抄

校友会関東支部の総会は、奇しくも大相撲五月場所の千秋楽と重なった。同場所で十両昇進を実現した渦中の若隆景は、なんと7勝7敗の重大な岐路に立っていた▼上野で行われた総会は議案審議がスムースに進み、引き続き懇親会に移った。大相撲も幕下の取り組みが順調に進み、十両土俵入りへ。出席者の関心は蔵前国技館に飛ぶ。会場のテーブルにタブレットが持ち込まれ、国技館の映像が映し出される。自然とそのテーブルに人だかりができた。やがて若隆景の取り組みが始まる▼相手は幕下上位ですでに勝ち越している木崎関。固唾をのんで土俵上の仕切りを見つめる。時間が来て両者がぶつかる。我々も祈るような気持ちで成り行きを見守る。若隆景が相手を送り出すと期せずして大歓声があがる。改めて「乾杯」の大合唱▼初日からの3連敗は、緊張してガチガチの取り口が素人目にも余る。故郷福島市で盛大な祝賀会が開かれ、母校の名前が入った化粧まわしを付けて連日の土俵入り。プレッシャーを禁じ得ない▼しかし、後半は白星先行と自分を取り戻し、ついに絵金直しを成就した。母校の星から福島の星へ、そしてやがては角界の星となるよう、ほかの学福出身力士とも、校友会挙げて応援したい▼それにしても残念でならないのは、生徒たちをこよなく愛した学園の元理事長・故山森元昭校長に晴れ姿を直接お見せできないことだ。

学校法人松韻学園 福島高等学校校友会役員

顧問　後藤 秀雄（昭23電気）
会長　八島 信夫（昭41電通）
副会長　高村 勘（昭31建設）
〃　大槻 芳久（昭35電気）
〃　菅野 廣男（昭35建設）
〃　松原 英男（昭30経済）
事務局長　作田謙太郎（平1電子）
事務局次長　渡辺 光一（昭63普通）
理事　斎藤 潔（昭41建設）
〃　小熊 剛（昭43電気）
〃　半澤 泰雄（昭43電通）
〃　佐藤 正治（昭43商業）
〃　赤間 広治（昭43商業）
〃　齋藤 守司（昭43建設）
〃　森松 好信（昭47建設）
（関東支部長）
〃　鈴木 和史（昭47商業）
〃　田代 恒雄（昭47普通）
〃　本田 幸作（昭48電子）
〃　白川 敏明（昭49普通）
〃　高橋 秀典（昭50電気）
〃　紺野 勇雄（昭50土木）
〃　黒沢 仁（昭50普通）
〃　阿部 典生（昭53電気）
〃　紺野 安寛（昭53電気）
〃　桃井 三夫（昭53土木）
〃　土田 聡（昭55普通）
〃　安藤 正明（昭57電気）
〃　辻 満（昭58普通）
〃　梶原 忍（昭59普通）
〃　佐藤 卓立（昭60電気）
〃　石原信市郎（昭60普通）
〃　丹治 誠（昭60普通）
〃　大内 正章（昭62電気）
〃　佐藤 勝也（平1普通）
〃　守山 貴裕（平1普通）
〃　大石 匡英（平2電子）
〃　中野 久之（平7建築）
〃　瀬戸 秀典（平9普通）
〃　八巻 広史（平11普通）
〃　本間 大造（平12建土）
〃　二瓶 顕人（平16商業）
〃　佐藤 孝則（昭53普通）
監事　武田 宏文（昭58普通）